

〔お知らせ〕

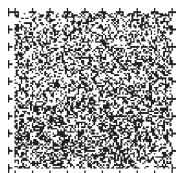
国際セミナー開催のご案内

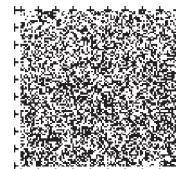
当センターは障害分野における国際協力として、海外のリハビリテーション専門家の研修、開発途上国への技術支援に対する協力などの活動を行っています。また、“障害の予防とリハビリテーションに関するWHO指定研究協力センター”としての活動の一貫で毎年、障害に関するセミナーを開催しています。

今回は、障害がある方々のための様々な福祉機器の開発研究の現状について日本、中国、韓国の開発従事者、日本の行政、利用者として障害がある当事者等の方々の発表と今後についての討論を行うセミナーを企画いたしましたので、下記のとおりご案内をさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

- ・主 催 国立障害者リハビリテーションセンター（WHO指定研究協力センター）
- ・テ ー マ 障害者のQOL向上のためのオーファンプロダクツ
ーアジアにおける研究開発、適合の現状とこれからー
- ・開催日時 平成23年2月19日（土） 12時45分～17時20分
- ・開催場所 国立障害者リハビリテーションセンター学院6F大研修室
（埼玉県所沢市並木4-1）
- ・参加費 無料
- ・使用言語 日本語と英語（日英同時通訳）※手話通訳 要約筆記あります
- ・申込み、問合せ先 事務局 国立障害者リハビリテーションセンター
管理部企画課国際協力係 西村、千田
TEL：04-2995-3100（内2148、2149）
FAX：04-2995-3661
E-mail：whoclbc@rehab.go.jp

※ 申し込みは2月14日（月）までにメール、FAX、郵送でお願いします。
期限以降のお申し込み等、詳しくは上記事務局にお問い合わせいただくか当センターのホームページをご覧ください。





プログラム

12：45 開会挨拶 岩谷 力 国立障害者リハビリテーションセンター総長

挨拶 李 建軍 中国リハビリテーション研究センター長

Yong Hur 韓国リハビリテーションセンター長

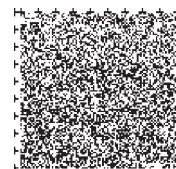
13：15～15：55 発表

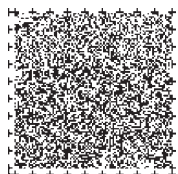
1. オーフアン・プロダクツ-その概念とこれまでの取り組み-
国立障害者リハビリテーションセンター研究所顧問 諏訪 基
2. 韓国におけるオーファン・プロダクツの研究開発、適合の現況と課題
韓国リハビリテーションセンター研究所 Myungjun Lim
3. 中国における義肢装具の発展と現状
中国リハビリテーション研究センター義肢装具士 王 林
4. QOLの向上に役立つオーファン・プロダクツ
全国頸髄損傷者連絡会 麩澤 孝
5. 車いす・座位保持装置の規格・評価の現状と今後
国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部室長 廣瀬秀行
6. シーティング・クリニック
国立障害者リハビリテーションセンター病院
副理学療法士長 岩崎 洋
7. 認知機能障害に対する支援機器の研究開発
国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部長 井上剛伸
8. 福祉機器開発と普及
厚生労働省障害保健福祉部企画課自立支援振興室
福祉工学専門官 小野栄一

16：10～17：10 総合討論、会場との質疑応答

17：15 閉会挨拶 江藤文夫 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局長

*セミナー終了後に講演者と参加者の懇談会（45分程度、会費制）を予定しています。





【お知らせ】

平成23年度政府予算案決まる

管理部会計課

年末の12月24日に平成23年度予算政府案の閣議決定がなされ、1月からの通常国会での審議を経て決定されることとなります。

以下、当センターに関する予算案の概要について紹介します。

なお、光明寮、保養所、知的障害児支援施設の予算（共通費、運営費及び施設費）についても、当センター予算に一括計上されています。

23年度センター全体の事業費は約78億円で対前年度比2%減となっています。また施設整備費として、病院・本館等の建て替えの2年次分として約11億7千万円が計上されています。

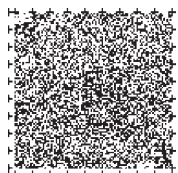
- 22年度まで本省費で計上されていた発達障害情報センターの運営事業を発展させた「発達障害情報・支援センター運営事業費」について、当センターの予算に計上されました。これにより、当センターは自立支援局、病院及び研究所における連携のもとに自立訓練や就労支援手法の開発、アセスメントの開発・普及、支援事例集の作成などを新たに実施することにより、発達障害者支援の普及・向上を推進することとしています。
- 新たに「高次脳機能障害情報・支援センター」の設置が認められ、全国連絡協議会、シンポジウム等の普及啓発活動や情報の収集・提供を行うとともに、都道府県の支援拠点機関に対する指導・助言を行うなど、中央拠点として総合的支援を行うこととなります。
- 「特別研究費」は、継続の研究6課題、新規の研究4課題の10課題が認められました。予算額としては前年度比で約2%の減額となっていますが、課題数では前年度の8課題から2課題増えており、より幅

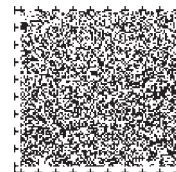
広い分野・対象における研究成果を求められていることを反映しています。

- 「日中韓リハビリテーションセンター相互連携事業」においては、中国リハビリテーション研究センター及び韓国国立リハビリテーションセンターとの協力協定を締結し、情報交換、研究協力及び技術交流を促進します。今後はこの日中韓の連携事業により、アジア地域のリハビリテーションの向上に資する活動をより積極的に行っていくこととなります。
- また、新たに「国連障害統計に関するワシントングループ会議への参加経費」が認められ、現在進められている国連の障害統計の開発についての会議に参加します。
- 「脳卒中リハビリテーション認定看護師研修コース」の新設が認められ、平成23年10月より研修（期間は6ヶ月）を実施することとなります。（社）日本看護協会において「脳卒中リハビリテーション看護」が認定看護師の分野に認定され、総合的リハビリテーションを提供する当センターとして、その役割と経験を生かし、専門知識・技術を有する認定看護師を養成するものです。
- その他、共通費においては、「人事・給与関係業務情報システムの導入に伴う経費」が新規で認められました。

国立障害者リハビリテーションセンターに計上されました予算（案）の概要は別紙のとおりとなります。

今後、より一層効率的な予算執行への取り組みが求められることから、職員皆様のご協力をお願いいたします。





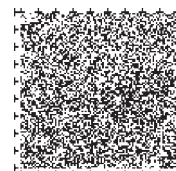
平成23年度 国立更生援護機関予算（案）の概要

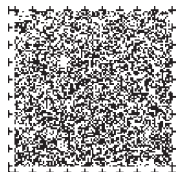
【一般会計】

(単位：千円)

事項	22年度 予算額 A	23年度 予算（案） B	差引額 B - A	主要事項
(組織) 国立更生援護機関	8,618,899	8,967,941	(4.0%) 349,042	
国立障害者リハビリテーションセンター	7,961,796	7,800,301	(▲2.0%) ▲161,495	〈リハセンター〉 1 任期付短時間勤務職員給与 9,874 ② 発達障害情報・支援センター運営事業費 52,122
(項) 国立更生援護機関共通費	5,809,690	5,729,859	(▲1.4%) ▲79,831	③ 高次脳機能障害情報・支援センターの創設 25,868
(項) 国立更生援護所運営費	2,152,106	2,070,442	(▲3.8%) ▲81,664	4 盲ろう者向け生活訓練等モデル事業 52,683 ⑤ 日中韓リハビリテーションセンター相互連携事業 1,622 ⑥ 国連障害統計に関するワシントングループ会議参加旅費 439 7 特別研究費（10課題） 138,315 ⑧ 研究機器の計画的な整備経費 45,255 ⑨ 脳卒中リハビリテーション認定看護師養成研修コース設置 17,565
				〈福岡〉 10 就労支援環境整備 4,267 〈別府〉 11 インドネシア人介護福祉士候補者受入事業 7,759 〈秩父〉 ⑫ 庁舎管理業務委託経費 2,326 ⑬ 地域生活移行推進経費 416 ⑭ 人事・給与関係業務情報システムの導入に伴う経費 9,513 ※ 番号を○で囲んでいるものは、新規事項
(項) 国立更生援護施設費	657,103	1,167,640	(77.7%) 510,537	〈リハセンター〉 1 病院本館及び本館建替工事 (国庫債務) 1,167,640

注) 光明寮、保養所、知的障害児支援施設を含め国立障害者リハビリテーションセンターとして一括計上している（児童自立支援施設を除く）。





平成22年度 リハビリテーション実施状況（12月報告）

1 自立支援局利用者状況

(1) 昼間実施サービス状況（1日平均）

（単位：人）

課 程		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
自立訓練 （機能訓練）	H.22	25.1	23.8	26.1	25.3	25.6	24.9	27.3	29.5	32.7				26.5
	H.21	14.9	17.2	20.9	25.0	24.2	27.4	27.0	26.5	28.0	28.0	26.2	30.9	24.7
自立訓練 （生活訓練）	H.22	10.8	10.8	10.8	10.9	11.0	10.7	11.9	10.0	10.8				10.9
	H.21	9.6	9.9	9.1	7.8	6.3	9.8	9.8	9.8	9.4	9.7	10.0	11.0	9.3
就労移行支援	H.22	65.5	77.4	62.5	64.9	69.4	65.7	54.8	53.1	59.9				63.6
	H.21	55.3	62.7	56.5	59.8	66.9	70.3	76.8	59.0	66.8	56.8	61.0	42.6	61.0
就労移行支援 （養成施設）	H.22	87.8	95.0	95.0	94.0	93.0	92.7	92.0	89.9	88.0				92.0
	H.21	72.7	77.7	76.8	75.5	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	59.6	73.8
合 計	H.22	189.2	207.0	194.4	195.1	199.0	194.0	186.0	182.5	191.4				193.0
	H.21	152.5	143.6	171.0	176.0	172.3	165.1	188.6	154.1	162.2	153.4	155.8	151.0	168.8

(2) 施設入所支援サービス状況（1日平均）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
施設入所支援	H.22	202.6 (66.4)	215.1 (67.9)	203.8 (68.3)	202.3 (67.2)	209.0 (68.9)	202.6 (68.5)	199.4 (70.6)	187.6 (61.4)	191.3 (54.2)				201.6 (66.0)
	H.21	185.3 (69.0)	193.7 (65.5)	187.3 (64.2)	189.6 (62.5)	187.8 (58.4)	198.9 (59.9)	200.6 (59.7)	189.7 (66.8)	194.5 (64.9)	193.0 (72.4)	192.0 (68.2)	184.3 (60.4)	191.4 (64.2)

※（ ）は、職業リハビリテーションセンターを利用し、かつ施設入所支援サービスのみを利用している者の内数である。

(3) 独自事業（1日平均）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
自動車訓練	H.22	115(48)	166(101)	161(89)	145(83)	120(47)	129(53)	137(72)	147(88)	116(56)				137(70)
再理療教育	H.22	0.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				0.9
臨床研修コース	H.22	1.3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.7	2.0	2.0				2.6

※（ ）は、自動車訓練のみ利用している者の数である。

(4) 利用者数計（1日平均）

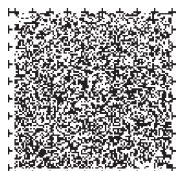
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
支援サービス	H.22	255.6	274.9	262.7	262.3	268.0	262.4	256.5	243.9	245.6				259.0
独自事業	H.22	6.0	13.9	12.9	12.3	8.7	9.3	10.8	11.8	8.6				10.4
利用者数総計	H.22	261.7	288.9	275.5	274.7	276.6	271.6	267.3	255.7	254.3				269.4

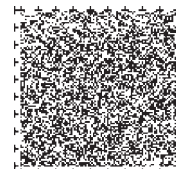
※1「支援サービス」は、「昼間実施サービス」の利用者及び「職業リハビリテーションセンターを利用し、かつ施設入所支援サービスのみを利用している者」の合計数である。

※2「独自事業」は、自動車訓練のみの利用者及び再理療教育、臨床研修コース利用者の合計数である。

2 病院入院患者の状況（1日平均）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.22	115.6	117.1	109.9	95.7	91.8	87.0	85.7	82.3	94.5				94.5
	H.21	121.0	107.4	102.5	102.2	107.7	105.3	95.6	88.3	81.6	89.5	100.0	108.3	100.8
一 般	H.22	114.5	116.7	109.0	94.8	90.9	86.4	85.0	82.3	93.9				93.9
	H.21	119.4	104.8	100.5	102.1	107.0	105.3	94.7	88.3	81.6	89.4	98.7	108.3	100.0
利 用 者	H.22	1.1	0.5	0.8	0.9	0.9	0.6	0.7	0.0	0.6				0.6
	H.21	1.6	2.6	2.0	0.0	0.7	0.1	0.8	0.0	0.0	0.1	1.3	0.0	0.8





3 病院外来患者の状況（1日平均）

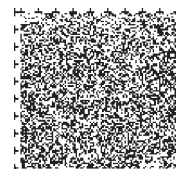
区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総 数	H.22	142.3	154.1	146.3	151.1	140.8	148.4	144.3	158.4	148.5				148.5
	H.21	154.9	162.1	151.0	152.6	147.9	151.5	146.6	145.2	151.5	143.6	135.3	135.7	148.2
一 般	H.22	129.7	142.1	132.5	136.8	128.8	135.7	131.1	145.6	135.5				135.5
	H.21	143.0	147.6	138.8	139.7	136.1	137.5	134.0	132.4	139.0	123.2	117.5	113.8	133.6
利 用 者	H.22	12.6	12.0	13.7	14.4	12.0	12.6	13.2	12.8	13.0				13.0
	H.21	11.8	14.3	12.2	12.9	11.7	14.0	12.6	12.7	12.5	20.3	17.7	21.9	14.6

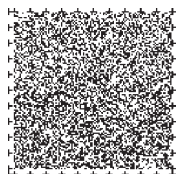
4 見学者の状況（実人員）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
医 療	国内	84	206	277	76	433	388	158	120	0				193.6
	海外	32	54	43	1	0	45	2	15	5				21.9
教 育	国内	12	96	2	105	37	13	64	143	34				56.2
	海外	0	0	22	1	26	0	1	5	1				6.2
福 祉	国内	106	68	88	112	53	125	104	40	54				83.3
	海外	5	18	33	13	0	19	0	18	38				16.0
職 業	国内	17	0	14	9	2	15	1	0	0				6.4
	海外	0	0	1	0	0	0	0	0	0				0.1
そ の 他	国内	50	42	59	14	21	122	26	21	92				49.7
	海外	2	2	35	0	1	5	4	3	5				6.3
うち障害者 （再 掲）	国内	9	21	13	34	4	6	36	11	2				15.1
	海外	0	1	20	0	0	0	0	5	7				3.7
平成22年度計	国内	269	412	440	316	546	663	353	324	180				389.2
	海外	39	74	134	15	27	69	7	41	49				50.6
	計	308	486	574	331	573	732	360	365	229				439.8
平成21年度合計		332	448	599	387	476	631	355	436	208	371	405	314	413.5

5 学院生の在籍状況（月末現在）

学 科	学 年	人 数
言 語 聴 覚 学 科	1 年	31
	2 年	28
	小 計	59
義 肢 装 具 学 科	1 年	9
	2 年	10
	3 年	8
	小 計	27
視 覚 障 害 学 科	1 年	10
	2 年	4
	小 計	14
手 話 通 訳 学 科	1 年	14
	2 年	10
	小 計	24
リハビリテーション体育学科	1 年	2
	2 年	3
	小 計	5
合 計		129





センターのロゴ

センターのロゴは、国際障害者年を記念し、入所者・職員から募集した作品の中から選定されたものです。

このロゴは、

- 1 リハビリテーションセンターを包む、リハビリに対する強い意欲・意思・たゆまざる努力、そして友情と信頼、
- 2 リハビリテーションセンターを出発点として、未来にまた広く社会各方面に向かって伸びようとする入所者・職員の姿、
- 3 手話の指、点字を読む指、職業、職能、理療に励む力強い5本の手指

をイメージ化したものです。

また、NRCOはNATIONAL REHABILITATION CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIESの頭文字です。

制作者 住田律夫（昭和56年制定）



上のシンボルマークは、WHO（世界保健機関）のマークです。

WHO（World Health Organization）とは、国連の仕事のうち、保健衛生の分野を受け持つ専門機関であり、その目的は、全人類の健康を守るために、世界の国々が力を合わせて努力しようとするものです。

国立障害者リハビリテーションセンターは、WHO指定研究協力センターの指定を受け、国際協力を行っています。

「国リハニュース」編集事務局

国立障害者リハビリテーションセンター管理部企画課

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL 04-2995-3100 FAX 04-2995-3661

ホームページアドレス <http://www.rehab.go.jp/>

（国リハニュースはホームページに掲載されています）

※本誌へのご意見、ご要望等がございましたら、上記編集事務局宛

FAX又は、Eメール（kikakuka@rehab.go.jp）をお寄せ下さい。

